

2025年ヒラメ稚魚分布密度調査結果（日本海）について

当研究所では日本海における天然ヒラメの稚魚分布密度調査を1980年から行っており、2025年は7月3日、8月1日、9月4日に桁網（水工研II型）を用いてつがる市沖8点で調査を行いました（図1）。ヒラメの分布密度は桁網の漁獲効率を0.28とすると0-281個体/1,000m²の範囲にありました（表1）。採捕したヒラメの全長組成は7月3日に水深5mで20-39mm、10mで20-29mm、8月1日に水深5mと10mで30-59mm、9月4日に水深5mで60-69mm、10mで60-79mmが主体となっていました（図2）。水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、2025年は222で、1980年以降の平均値141を上回る水準でした（図3）。

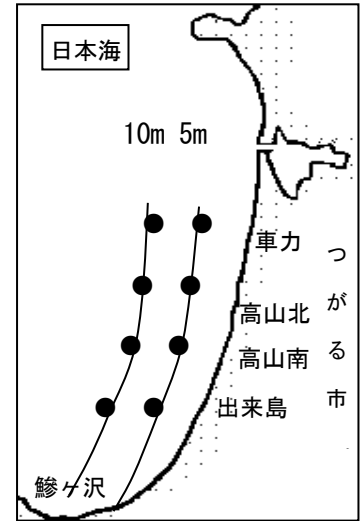


図1 調査地点

水深		5m				10m				(個体/1,000m ²)	
調査月日/調査点	出来島	高山南	高山北	車力	出来島	高山南	高山北	車力	5m 平均	10m 平均	
2025.7.3	9	9	13	20	0	17	0	20	13	9	
2025.8.1	281	113	254	252	15	10	136	89	222	62	
2025.9.4	57	31	40	35	15	4	29	16	40	16	

* 桁網の漁獲効率を0.28として算出した。

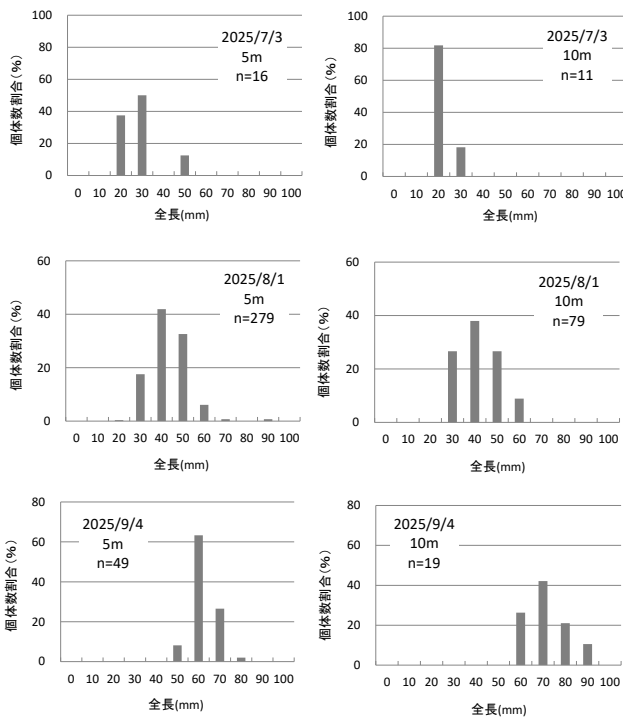


図2 採集したヒラメ稚魚の全長組成

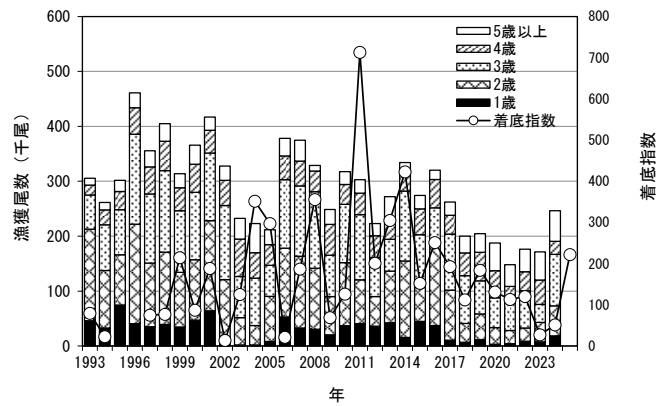


図3 日本海のヒラメ着底指数と年齢別漁獲尾数の推移